されたことをしっかりと認識しておくことが大事です。

をいたすことを伝えることが大切です。この地球も人間だけのものではなく、

私たち人間は植物や動物の命をいただいて生きていることを感謝し、

ます。植物や動物そして人間には、それぞれに与えられた命がありますが、

振りかえりますと、20世紀はお金と物に振り回されて、

精神文化や心の問題をおろそかに

お金と物には決定

社会は、想像以上にさまざまな問題が続出し、子どもたちが苦労することが予測されます。

近年のわが国の経済や政治また社会の現状をみていて感じることは、将来、今の子どもた

兄

地球市民国際フォトコンテスト2010・YMCA賞受賞作品)関係記事2面に濱部杏奈撮影(西東京コミュニティーセンターユースボランティアリーダー、YMCA

₩

build strong kids, strong families, strong communities.

創立1880年

東京都江東区東陽2-2-20 電話 03-3615-5562

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって 示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少 年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、 地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつく るための運動を展開する。

URL http://tokyo.ymca.or.jp



なべてもないすべきんでんでいているべんだんだいだ

声の文化が光です

YMCAは、たくましい子どもたち、家族の強い絆、支えあう地域社会を築きます。

相談役

松 居



夜、電話が鳴

10月のある

直

経て訪れた教会に感動し、 渡米されてて比較的早い時 あるの」と涙ぐんでいた。 業してからアメリカへ留学 が、用事が済むとトンボ帰 も何回かは帰国されていた り合う中である。今までに へ通ったのだが、50余年を 女とは高校時代に同じ教会 ほしいとの事だった。▼彼 たので教会へ連れて行って が、今回は少し時間が出来 りで仲間には会えなかった カードでお互いの消息を知 へのK子さんだ。高校を卒 「私の信仰の原点は此処に 1年に1回クリスマス ックネームで 中高時代の友 キノコとはニ よ」だった。 たその声は り聞こえてき 「私キノコ

際病院理事長・名誉院長)の『愛とゆるし』

者の真の姿と心を伝える。ことを言葉に託して、私たちに語ってくださったお気持ちが身に

しみます。

(教文館)という証の本です。 信仰の大先達では

"私たちは土の器に命を与えられたのです。 朽ちる体ではありますが、 その与えられた体!

ゆたかにすることです。それにはまず家庭でそして地域社会で、人と人との交わりと愛とゆ

子どもたちの未来を考えて、今もっとも心しなければならぬことは、子どもを取り巻く人

いることに現れています。また家庭内暴力や子どものいじめの問題も深刻です。

社会秩序が悪化するのではないでしょうか。そのきざしがわが国の年間の自殺者数が3-

取り返しがつかぬほどさらに悪くなることが予感されます。

人間の

です。そしてこの傾向は、

しょうか。現在すでに先進諸国では人間関係が次第に稀薄になり人の気持ちや情感が無視さ

命や愛やいつくしみの心を日常おろそかにしていると、そのツケが次の世代になって顕著

どもたちは生まれながらに、機械語や騒音語に包まれ、文字の文化を生かす声の文化の体験

人間の命を支えていることは、聖書「ヨハネによる福音書」の冒頭に証されています。わたくしたちは言葉で生かさ

しかるに現代はその言葉が消える時代のように映ります。子

が失われています。教会が

実感した。今年のキノコか り子を賜わった神の愛』を なプレゼントを頂き『ひと 50年ぶりの再会という大き もうすぐクリスマス、私は 仰がとても恥ずかしかった。 いて、なまぬるい自分の信

に聴く力をもった弟子たち

何が書かれているか、今か

松本倫子)

らのクリスマスカードには

人間には言葉というかけがえのない不思議な力が恵まれていて、

しの言葉の働きと力こそが

が書きしるした命の言葉であることの意義を生かして、光あれと人々に語り伝えることです。

初めに言があった。言は神と共にあった。言は 神であった。この言は、初めに神と共にあった。言は あった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇 あった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇 かった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇 かった。の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

の子どもたち、特に小学生には心のことを教えなければならない』と願われて、ご自身で各地の小学校へ出向いて10歳

私は切に望んでいます。

"と述べられて、

言葉を直接彼女の口から聞

の子どもたちを中心に「いのちの授業」をおこなっておられるのです。

気持ちを持ってもらえるような存在でありたいと、

株式会社福音館書店

らはじめなければなりません。そのためにぜひおすすめしたいのが、先ごろ出版されました日野原重明先生(聖路加国 の生き方が、次の時代をになう子どもたちから、「あのような青年になりたい」「あのような老人になりたい」という それを感謝して、イエス・キリストの教えをいただき、私たちは小さなイエスとして生きたいと思います。私たち 植物や動物と共に生存する場として創造 あらためて子どもたちに命について思い います。さらに、これから に魂を入れてもらったので おられる先生が、゛ギリス るしを見詰めなおすことか 万人をこえ、 年々増加して の精神がいちじるしく低下 れたりおろそかにされがち に現れてくるのではないで 定的に命がありません。そ してきた時代だったと感じ らが成人する

ころの日本の こ人との関係を親密にし、 と何度祈った事か、また信 活を送られていた事はクリ 時も乗り越えられたという 仰があったからこそ苦しい 様は何処にいられるの?」 い、それからは末のお嬢さ のご主人を癌で26年前に失 逢われて結婚し、幸せな生 れたのだった。▼「私の神 てと教育の為に必死で働か されていた。然しその最愛 スマスカードの便りで知ら 期に良き伴侶(日本人)に んが中学生だったので子育

ソウル・台北・東京Y指導者協議会

交流深め結束強まる

●YMCA地球市民国際フォトコンテスト●

CA100点の中から選ばれた。 動のポスター等に採用される予定。 8/10・日本YMCA同盟主催)に参加した時に 品『兄弟』=1面参照=は、濱部さんが「第5 奈さん(西東京コミュニティーセンター)の作 A賞に選ばれたボランティアリーダーの濱部杏 2010「伝えよう!感動の一瞬」で、YMC 撮影したもので、2011年度の国際協力募金活 日本YMCA同盟が実施したフォトコンテスト 東ティモール・ユースキャンプ」(7/31~ 今回17 Y M

希望と夢信じる心に感動

男の子の手にはゴム鉄砲の と遊んでいた。声をかけた かぶ空の下、笑顔の絶えな ようなものが。 「これどう 第5回東ティモール・ユ ウルメラ村の子どもたち いつも青空で白い雲が浮 スキャンプに参加した時 -ダ-濱部杏奈 たいと思い、大学で政治学 や南アメリカなどの発展途 さ、愛情が伝わってきた。 を掴んで声を出して笑い、 を専攻した。 Ŗ 喜んでいた。兄弟の仲良 上国へ旅行で行った経験か の生活が長く、東南アジア しかし、大学の授業を受 私は小さい頃から海外で 発展途上国に貢献をし

ので「兄弟?」と聞くと、 やって使うの?見せて」と いた。男の子の隣に立って 照れくさそうにお姉ちゃん 声をかけたら、照れながら ニコニコとゴムをいじって いた女の子と顔が似ていた しそうにお姉ちゃんの両腕 一にしか見えなくなってい と向き合ううちに、私の頭 分とはかけ離れている事柄 治、国連、お金だった。だの中に浮かぶ言葉は、政 け、発展途上国の現状問題 うにもならないと諦め、自 けに目を向けていたら、ど が、 そのような大きな所だ 国でも、いつかは俺たちの 笑顔で私にこう言った。 心に感動した。そんな彼ら と夢を信じ続けている強い 将来に対して諦めずに希望 国も日本みたいに発展する んだよ」 この経験を、写真を通し 一今はまだとても貧乏な

自分たちの国の

直すためにキャンプに参た。そんな自分を見つめ らい、 て多くの人たちに知っても 何かを感じ取っても 妙高

高原 口

ッ ジ 25

年

日に至るまで、多くの方々

東京YMCAに贈与され今 ャンサービス維持財団から

|コミュニティーセンター) らえれば嬉しい。

(西東京

下落合クリスチ

出来ないことを学んだ。 や習慣に合っていなけれ ても、その国の人々の文化 続可能な社会作り」で、 んなに発展国の援助があっ キャンプのテーマは「持 持続可能な社会作りが ど

や経験を提供する大切さを 々が今必要としている知識 また、東ティモールのよ

| どもたちの姿を見ている の東ティモールのユースはた。キャンプ最終日、一人 ていこうとする未来がある 国なのではないかと感じ と、かえって恵まれている ようで、そんなユースと子 は、やがて大きく国を育て 笑顔や心強いエネルギー 東ティモールの若者たちの と、明日に夢を描いている 先進国の日本と比べる 励(フィリピの信徒への手

音が響き渡った。 1部記念 と誉れをたたえるように奨 てのロッジが益々神の栄光 礼拝は、県町教会・多田裕 ニングでは池の平温泉地区 のある42人(地元から24 志牧師より愛の業の証とし の有志による須弥山太鼓の 妙高高原ロッジで行い、 ジ献堂25周年記念感謝会を 人) が集まった=写真下。 献堂25年を祝し、オープ 11月27日、 元に愛され、 妙高高原ロッ 関係者、 夫氏からも永年の利用者か たいとの祝辞があり、東京 高齢化と過疎化、景気の低 委員長と歴代所長、名誉主 らの視点での祝辞を頂戴し 事の星野達雄氏に感謝状が YMCA名誉会員の森井利 共に時代を切り開いて行き 迷の困難な中、YMCAと 温泉区長・関口義忠氏から 贈呈された。また、池の平 2部の感謝会では、 地元 支えら 旧運営委員会歴代 周 れて

の会でもあった。

廣田光司総主事からは、



だいた=写真右上。 紙第1章3~11節) をいた ロッジは尾崎行雄(愕堂

開設25周年感認

東京YMCA指導者協議 に「第16回ソウル・台北・ 東陽町センターを会場 10日~12日の3日 は東京YMCAが担当とな ホスト兼開催地となり今年 めることを目的に、順番に

Consultation) = STTokyo YMCA Leaders ☆」(Seoul Taipei ルYMCA、 台北YMC 大都市YMCAであるソウ この会はアジア地域の3 東京YMCAが2年に のメン 交う中、共通語は英語と決 ことができた=写真。中国 め、インターナショナルス 語、韓国語、日本語が飛び 員、総主事が来日、東京Y Yから11人の理事、常議 ソウルYから11人、台北 バーと旧交を温める ついて貴重なお話をうかが

T=を開催した。

毅氏が主な通訳を務めてく 政的に厳しい中、新規事業 うことができた。 ら報告があり、それぞれ財 が話された。またこの日は の紹介やコスト削減策など 2日目には各YMCAか

ンスである。お互いのYM 1回行ってきたカンファレ

れた。

と中間支援組織の必要性に と題して、青少年の居場所 の新たな取り組みと課題」 学の萩原建次郎教授から 日本における青少年活動 今回のテーマは「ユー 基調講演には駒澤大

チャ東雲を見学した。 カイツリー こども園・児童高齢者交流 最終日は芝浦アイランド

(国際協力部

菅谷

淳

Y A 合同

メンズクラブの皆さんが集 の関係者、信越妙高ワイズ スキー場や食堂、近隣の宿 まり、地元に愛され根付い 泊施設、関連団体、建築時 された=写真左上。地元の のお支えに感謝の挨拶がな 国YMCA合同の祈祷会 ・東京YWCA・在日本韓 「YMCA・YWCA合同 月18日、 東京YMCA

機から救ってくれた木村熊 時間余、草創期の存亡の危 の齊藤實氏(元副総主事) 二の足跡(小諸義塾、中棚 は、YMCA史学会理事長 での子女教育に次の人生目 で、信州の伝道と小諸義塾 温泉水明楼)を訪ねた。 託し家庭の事情も加わる中 り組織を支える働きからス った。その後、小諸での熊 に講師をお願いし、車中2 イフト氏や丹羽清次郎らに 一に関しての学びの時を持 また東京からのバス内で 東京YMCAの中心とな れている。聖書・ホセア 析りで、神に与えられた 節を朗読した後、「生きと 書、ルカによる福音書の数 で「命」の大切さが伝えら うことを賞賛している。 を持ち、日々の生活におい の問題が調査、協議され 暴力、性と生殖、 ミットのテーマでもあり、 YWCA総会と国際女性サ テーマ「女性が創りだす安 MCA・YWCA両会長の て創造的な役割を等しく担 る。また女性が指導的役割 全な世界」は、来年の世界 メッセージを読み上げた。 「生命の糧」、生死の選択 祈祷は世界合同祈祷週の まず出席者全員で世界Y H I V 等

時を与えられたことに感謝 先達の力により、節目の 堀口廣司)

| ズクラブの長澤山泰氏に協 をとることができ、懐かし 会のメンバーと一緒に昼食 場面も見られた。 内観光は、東京ワイズメン い顔に握手し肩を叩き合う 力を頂き、建設中の東京ス 会議の合間を縫っての都 や浅草などを見 発な質疑応答が飛び交っ に、 SYMCA は 今回の S 第1章2節) の聖句のもと い」(ヨハネによる福音書 ての人を一つにしてくださ 内容や事業規模について活 同事業が増えており、契約 言語は異なっても「すべ

会日と重なったため、史学 | ル、台北とも、行政との共 ー事業部

働事業の活性化を図ること れからの交流事業や新規協 TTでその結束を強め、

ている妙高高原ロッジの証 は59人で、今年のテーマは CAで開催された。参列者 祈祷会」が在日本韓国YM 『女性が創りだす安全な世 Ł

の心境と開拓者としての姿 勢を学ぶことができた。 標を切り開いていった熊二 大学名誉教授の石井摩耶子 とき」と題して恵泉女学園 し生ける物のいのちが輝く 活動のために献金が捧げら

奪い合えば足らぬ、 分け合えば余る」 (相田みつを)

鉢植え』があったとのこ 品のなかで、以外にも喜 ました。多くの災害救助 日、災害ワークショップ ばれたものに『パンジー 体験談を聞く機会があり で当時を体験した人から 災」が起こりました。先 ◇15年前の1995年 月に「阪神・淡路大震 生活していく上で、 すべての人を

『女性が創り出す安全な世界』 一主題に 新游会

を深め、最後に、在日本韓 M・YWの善男善女が交流

懇親会は和やかな中

に Y

グルで合唱し幕となった。と「リムジンガン」をハン

歌唱指導で、「故郷の春」

午餐会双書

03-3615-5568

国YMCA・金秀男総務の

いた=写真。 氏からメッセージをいただ 1991年、 韓国とオラ

時となった。

(常議員

久保田貞視)

午餐会双書

要性が実感させられた

ひと

界を祈るとともに、その必より創りだされる安全な世 今年の合同礼拝は、女性に

健康、自然環境を守るため たちの戦争と平和資料館」 を強調された。その後「女 との契りによる正義と公平 と人間の契約の尊厳性、 であること。国連のミレニ 保障として、安全、自由、 94年UNDP(国際連合 消すべく訴えてきた。19 性の地位や貧困、DV、 日本軍の従軍慰安婦として ンダの女性から、かつての の過酷な体験談を聞き、 アム開発目標を達成するこ 開発計画)での人間の安全 に自ら行動することが必要 DS問題等を調査し、 最後にホセア書から神 A 女 移行認定申請与 る歴史を歩んできました。 年の精神・知性・身体の全 革が施行され、従来の法人 て社会的認知を受け、 に財団法人格を取得、 ければならないことと 財団」への移行を決断 は2013年11月末までに 年に創立され、190 人的成長を願う働きに に創立され、1903年 東京YMCAは1880 財団 報告 財 団 青少 なり

ました。 **本会は、2006年**

活きと再生したというス

薬という、自分たちのも の世話をすることで活き の博士も黄金、乳香、没 リスマスは神様が私たち 打ちひしがれた心が らなければという状況で リーでした。 して っとも大切なものを差し 花 イエス様の所に来た3人 ◇最初のクリスマスに

自分自身 を神様に献げる

何もかも誰かの世話にな ではなく「してあげ もらう、頂く」ことのみ 上げることで、新しい人 人に自分を献げること。 差し上げる」ことで勇気 マリアは「お言葉どおり が湧くということがあり この身になりますよう 生がスタートしました。 に」と自分自身を神様に 年をお迎え下さい。 恵まれたクリスマスと新 (総主事 廣田光司)

つにしてください 生がはじまりました。ク 献げることで、新しい人 人間に御自分の一人子を プレゼントして下さった 日です。しかも十字架に

を教えてくれています。 なく "あげること" "他に、"もらうこと" では ◇クリスマスは私たち

つける為に。

それでも私はりんごの木を植える

前日本YMCA同盟総主事 山田公平氏局 8 東京大学教養学部教授 山脇直司氏会 1556 東京大学教養学部教授 山脇直司氏会 1556 あ 3615-556 グローバル社会とYMCA

03-3615-5568

少子高齢化と医師不足

*各界著名人による午餐会での卓話をまとめた双書(各1部200円) 老いの旅路

午餐会双書

法人として100年を超え | 員長とする公益法人制度タ | る予定ではありますが、認 主に「一般財団」と「公益|29日の理事会、常議員会を|行う公益を目的とする事業 この度、公益法人制度改 びと検討を重ねてきまし より | 申請を行いました。 しな | 持って新定款等を定め、9 | の実施を促進し、活力ある 月30日に内閣府へ公益財団 た。7月30日の最初の評議 | 具備され、改革の主旨であ 員選定委員会を経て、9月 る「民間の団体が自発的に スクフォースを開催し、学 | 定を受ければ「公益財団法 法人を目指すべく移行認定 | こととなります。 現理事長の茅野徹郎氏を委 人」として寄附優遇制度も 社会形成する」へ寄与する 認定審査に数ヶ月はかか (副総主事 本田真也)

講師のヘネシー澄子氏「あなたの『愛』は子どもに伝わっていますか」と力強く語る。

少し不安を抱えていたり、

自分の子育てが正しいか

ら家族全体の関係(例えば

家族団らんの時を積極的に

子育てのヒントをもらいた いと、子どもをもつ父母や

とが大切になってくる。さ もつなど)へとつなげるこ

ろう。

らに、幼児期に愛着関係が

をいただいた。

安定した愛着関係が必要

特に親との愛着関係か

だからこそ、子どもとの

どもに伝わっていますか?

ってしまう。

レートな語り口に、時折、

「あなたの『愛』は子

対しても否定的な観念を持

- 気になる子、理解できる

祖父母の方々が参加され、

スタッフを含め約100人

が熱心に耳を傾けた。

の絆はいつでも結び直すこ 上手く築けなくとも、愛着

気の中、あっという間に過

熱心にメモをとる参加者

る。 YMCAは、

け合う関係づくりをめざす活動の一環。

害ワークショップ』を実施した。 今年で2回目。 トワークチームが11月12日、東陽町センターで『災

YMCAの働きとして、いざという時に地域で助

淡路大震災』

=第2回災害ワークショップ=

々、スタッフなど60人が参 施し、会員・近隣住民の方 った。ワークショップは11 ップ」を開催するにあた 加された。 ぶ』というタイトルが決ま 神・淡路大震災の体験に学 討した結果、昨年の第1回 に引き続きテーマを "地震 講師には、この大地震を 12日東陽町センターで実 に関するものとし、『阪 『その時』 東陽町・江東災害ネッ 第2回災害ワークショ

られ構築物の専門家として 戸YMCA職員の佐久間眞 らボランティアコーディネ ブの菅原創氏、発生直後か 東京江東ワイズメンズクラ 人氏、震災直後被災地に入 ターとして活躍された神 般市民として経験された



創氏

調査された東京江東ワイズ

第 5

回

教育シンポジウム

で、第5回教育シンポジウ

を対象にした講演の中で特

学齢期の子どもをもつ親

月6日東陽町センター

ムを開催。昨年に引き続

「愛着」

が強める親と子の絆

で社会福祉学博士のヘネシ き、東京福祉大学名誉教授

る場合、子どもは自分に対

最新の脳科学に基づいた

「良いことは良い!だめな

澄子氏の温かいお人柄と、 る参加者も多く、ヘネシー

しても親に対しても人生に

もとの愛着関係に問題があ

に印象的だったのは、子ど

澄子氏を講師にお招き

佐久間眞人氏

トワークチームで内容を検 にとって、当時を語ること のために準備を い精神的苦痛があるとは聞 のできない、非常に重い重 の3氏にお願いした。 メンズクラブの酒向裕司氏 進むにつれて、会場には助 けようにも助けるすべがな は何年経っても忘れること 言えぬ虚しさが漂った。 かった者としての、何とも いていたが、体験者の話が 大地震は100年、20 大地震を経験された方々 災害時に大きな役割を担え スタッフも会員も、今後の 活かせば、東京YMCAの 験の蓄積をノウハウとして んいると思われる。その経 て経験された方々がたくさ は違ったボランティアとし て、この地震で公的機関と が、 YMCA 関係者にとっ

数百年周期で発生す るのではないかと思う。 (江東コミュニティー委員 安斎克茂)



と感じていたら済まされな いは遠い地方の他人事など 大地震は過去のもの、ある 前の1月17日未明に起きた 時に備えて準備を怠っては ると聞いたが、 ならいと思う。 そして15年 いつもその

ボランティアの経験生かし◇

江東・東陽町コミュニティーセンターの災害ネッ

起きた1995年はボラン ティア元年といわれている いことだとも感じた。 「阪神・淡路大震災」が

地域の繋がりの大切さ学ぶ

聴しました。お2人の体験 を見て、自然の力に対する 談からも、甚大な被害状況 被災された方の体験談を拝 ップ」に参加して、実際に 「第2回災害ワークショ 対人支援が大切。 日も早い自立を促すための 然ですが、被害者本人の1 を的確にお渡しするのは当 纏めると、まず、支援物資 また、 「頑張って下さ

くの人が協力し合い、助け 切さ等々を改めて、我々も 性、日頃からの繋がりの大 切さや分かち合う心の重要 合い、共に生きることの大 との状況の中でも地域の多 を知らされた思いですが、 人間の如何に無力なことか た。 るのだから。「如何ですか イスが肝心とのことでし 目と目、フェイストゥフェ ご本人は十分に頑張ってい い」と言ってはいけない。 すか?」という言葉掛けと ?何か出来ることがありま 避難所での生活ではお風 致しました。 などアットホ

YMCAとしてボランテ 呂に入れた時の喜びは忘れ

とが出来るという。 ィアの皆様に大切な心得を られない、また、被害者の 会場では熱心にメモをと ー氏の誕生日に合わせ、



だ話したい!」という雰囲 こそ、ストレートに言って 驚きの声や笑い声もあがっ ことはだめ!」というスト し、安心感を得られるのだ くれた方が参加者は納得 くい子育てについてだから ていた。正解が導き出しに 3時間の講演は「まだま

い、盛況の内に終了した。 場の皆で感謝の気持ちを込 07年から1年に1回を目 教育シンポジウムは20 ハッピーバスデーを歌

ぎ、最後に2日後のヘネシ|途に開催し(2007年度 てメッセージを伝えていこ たちが一番早く、長く接す る大人である『親』に対し 全な成長のために、子ども は2回開催)、青少年の健

うという趣旨で実施してい な事件が多々起きている。 果、目を覆いたくなるよう 方で保護者もまた悩み、辛 もであることが多いが、一 悲しいことに犠牲者は子ど えていると言われ、その結 なり小なり育児の不安を抱 保護者の3人に1人は大 思いをしている現状もあ

諸々行動された勇気に感激 とのことでした。 る)などの配布が役立った 賞、鉢植えの花(育てられ 問や「フーテンの寅さん」 心のケアには歌手の方の慰 | な社会にこれからもメッセ おう人の貴重な体験談と、 (会員 布上信子) ームな映画鑑 されているのも特徴的であ があるだろう。教育シンポ くわくビレッジ) ることを感じるシンポジウ も、集まって大きな力とな 委員会を重ね、計画・実行 ィア(職員を含む)によっ ジウムは、会員のボランテ ムとなった。(担当スタッ ージを送り続けていく必要 て実行委員会が組織され、 鳩山徹郎―高尾の森わ 一人ひとりの小さな力

手作り運動会 父も母も協力 **「基礎保育クラス」** が始まった。かけっこの

会を演出する入場門や退場 運動会を開催した。 保育クラスに預けている 装飾などは、 館が華やかに飾られ、 いつもはシンプルな体育 縦看板や横看板、 子どもたちを 、壁の 運動

近隣の方も参加して

酒向祐司氏

自らを変革する米 家 フ 口 忍 þ

18

Y

主事になるというこ

他州のYMCA

の総 されることに誇りを感

ュー
じ、サマーキャンプディ

を生み出し、For Youth

新しいロゴ (The YMCA)

員に レクターのポジションは Development (青少年

国

CAのキャンパー、

る

からフロストバレー

YM いと皆大胆に構えてい

Living(健康的定活)、

の成長)、For Healthy

流れた。彼は子ども スがEメールで全職

頃

また誰かが応募すればい

ダーを経験してきたスタ

人が組織に縛られすぎ

ッフである。

そんな経験豊富なスタ

を私物化することもな ることもなく、組織も人

て表した。それは自らを

を今後の活動の方針とし

ty(社会的責任)の3つ

For Social Responsibili-

場を移りつつ、その度に 般的ではなく、数年で職 や団体で一生勤務するよ いく習慣がある。 キャリアや経験を積んで うな終身雇用はあまり一 フロストバレーYMC アメリカでは同じ企業 目のベテランのような顔 うすべく、最初から10 MCAのサマーキャンプ しく感じることも多い。 で仕事をしており、頼も のディレクターが退職 先日フロストバレーY

> フロストバレーYMCA ッフがいなくなることは

発揮できる場所、評価し く、自分の力を最大限に

とであると伝えている。

世界で最も大きなYMC

アメリカのYMCAは

Aであるが、自らを変革

変革(Change)するこ



フはおらず、彼の退職、

うな不安を考えるス

タッ

ているアメリカの人々の

姿を垣間見たような気が

し、YMCAを、 社会を

思ってしまうが、そのよ き、のびのびと仕事をし

にとっては痛手であると てくれる場所を求めて動

いるのが印象的であっ 再就職を皆心から祝って

アメリカのYMCAは

するスタッフのパワーが

より良く変えていこうと

替が激しい。

| | 写真。 らお父さんが足を運ば セッティングには、早朝か | へ走る姿が印象的だった。 お母さんたちが協

掲げてくれた もたちの活躍をカメラやビ し、観覧席には約350人 をしてくれた社会体育・保 お母さんたち同様協力 デオのファインダーから覗 | ことができた。 の保護者が詰め掛け、 の入場行進からスター プログラムは子どもたち ど

会は無事に終了した。 (東陽町ウエルネスセンタ 草分俊一)

保育クラス(園児77人)の

11月7日、東陽町ウエル

校前と東陽町センター1階間、社会体育・保育専門学 11月24日12時から30分 キッズガーデン

い、取り組んでいきたい。

(東陽町語学教育センター

依田あゆみ)

ミニ街頭募金 東陽町駅前で

手作りで製作をしてくれた | の場面を撮るためで、観覧 | の園児と保護者、講師約30 他の土地で違う形で生か ため、2010年の夏、 たものが他のYMCAや 分かりやすいものとする (在フロストバレー フロストバレーで培っ CAの願いをより社会に 力し 席からゴールエリアにカメ ール付近から我が子の最高 | ロビーで、キッズガーデン プログラムの意味やYM それを支えていると感じ ている。

. 松本数実)

また天井を飾る万国旗の | ラやビデオを持って右へ左 | った。 |は、子ども、先生、お母さ|ジネスマンや学生が募金し もたちの安全を確保した ん、お父さん、加えて子ど | て下さり、総額1万222 基礎保育クラスの運動会 呼びかけに、昼休憩中のビ 人が国際協力街頭募金を行 子どもたちの一生懸命な

一円が寄せられた。 も向けの紙芝居(国際協力 の子どもたちのために募金 ?」子どもたちに伝えるこ 貧困や戦争で学校に行かれ 「なぜ募金活動をするのか キッズガーデンでは、

がることができたらと願 の国旗を探していた」と聞 への小さな興味や関心へ繋 いた。募金活動が国際協力 「子どもがバングラデシュ 募金の翌日、保護者から

るアナウンスと共に大移動 | Aのプログラムを通して新 | が用いられることを、子ど 次の「かけっこ」が始ま | 士、家族同士・・・YMC わせ一体となって実施するとを大切にしたいと考え、 たな仲間が増えたのではな 育専門学校の学生が力を合 り、プログラムのサポート いかと期待しながら、運動 | 部作成)を使い、折にふれ 子ども同士、保護者同 | ない子や飢餓に苦しむ世界 て話すようにしている。